

自己評価表の公表

	チェック項目	回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい	法令を遵守したスペースを確保しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	はい	法令で必要とされる職員数を確保していますが、行事や活動内容によって、不足していると感じることもあります。
	③ 事業所の空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	いいえ	建物が古く、バリアフリー化されていないので、現在建てかえに向けて計画を進めています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	はい	使用するおもちゃの清潔さを保つようになっています
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	はい	小さなことでもお互いに伝えあい、改善につなげるようにしていきます。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい	保護者と向き合い、直接言い合える関係をつくることを第1に考えていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業その会報やホームページ等で公開しているか	はい	ホームページで公開しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	いいえ	第三者による外部評価は現在おこなっていませんが、今後実施を検討していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい	定期的に勉強会を開いています。外部の研修にも参加しています。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	はい	保護者の意向をきいて、計画をたてています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい	適宜発達検査・知能検査を行っています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	はい	本人への支援だけでなく、家族に対する支援内容も記載しています。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	はい	チームで話し合い、意見を出し合って、児童発達支援計画に沿った支援ができるよう、努力していきます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	はい	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	はい	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい	行事などでは職員間で話し合いを行っていますが、日々の療育については十分な時間がとれているとは言えない状況です。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	はい	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい	日々の活動の記録をとり、支援内容や個別支援計画の見直しや改善につなげています。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	はい	半年に一度、モニタリングを行い、保護者様と支援の振り返りや今後の課題等について話合っています。	
関係機関や保護	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	はい	担任と児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	はい	定期に通園が難しい園児さんについて、子育て支援等の関係者と連携をとっています。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	はい	他の専門機関や保健師、行政担当者等との関係者会議に出席したり、情報共有を行ったりしています。医療的ケアについては、保護者を通じて情報を得ています。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	いいえ	
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	はい	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	はい	保育所等訪問支援等で、連携を図っています。

者との連携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	はい	
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	いいえ	園レベルでの交流は行えていません。今後考える必要があると思います。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	いいえ	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい	療育後に保護者とその日の活動を振り返り、子どもの様子を伝えたり、保護者の記録に返事を書いたりして保護者と共通理解を図っています。また、家庭での関わりについて等、保護者に伝えていますが、プログラム化はしておらず、まだまだ十分とはいえません。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	はい	
保護者への説明責任等	㉕	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	いいえ	利用者負担については、毎年説明をしています。運営規定については、説明は行っていません。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	はい	個別支援計画については、保護者に説明をしています。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい	今後もしっかりと行っていかなければと考えています。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	はい	卒園児の親の会行事を行っています。在園児については、保護者交流の機会や場を提供しています。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい	今後心掛けていきます
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい	毎月のおしらせを発行しています。行事予定については、メールでも発信しています。園行事、各年齢の行事等は、ホームページに活動概要を発信しています。
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意しているか	はい	
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい	聴覚障がいについて理解し、配慮しています。
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	いいえ	事業所の広さや性質上、行っていません。
	非常時等の対応	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	いいえ
㉟		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい	火災や地震の避難訓練は、月に1回行っています。
㊱		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	はい	保護者に確認していますが、十分とはいえません。
㊲		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	はい	アレルギー対応食を行う場合には、医師からの指示書をもらうことにしています。
㊳		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	はい	朝礼等で共有するようにしています。
㊴		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	いいえ	虐待防止マニュアルを作成しましたが、職員が研修会に参加できていません。
㊵		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	いいえ	身体拘束を行う想定は少なく、保護者への説明や支援計画への記載はされていません。

